

総合的な学習や教科との関連を重視した活動例

一つの体験には学びの要素が無数に含まれています。子どもたちに伝えたいことや教科との関連付けなどを事前に先生が把握することで、また事前学習により子ども達の動機付けを高くすることで、一つの体験から様々な学びが生まれます。

以下は、佐渡で数多く行なわれている体験「伝統芸能」「伝統工芸」「自然」「漁業」の中から取り上げた4例です

※ 青文字は6年生の教科の単元

活動例①

伝統芸能 鼓童に学ぶ
太鼓・踊り体験

鼓童とは？→1981年より佐渡を拠点に、国際的な活動を行なっている和太鼓集団。

鼓童の活動や佐渡の伝統的な太鼓や踊りについて学ぶことができる

体験できる施設

- ・ 太鼓体験交流館
- ・ 鼓童村



事前学習

調べ学習を切り口として佐渡と上越地域とのつながりを探る

地域発見 社会	日本の歴史 ：佐渡と上越の小グループに分けて、地域にどんな太鼓や笛、踊りなどが伝わっているのか、いつどこから伝わってきたのか、どんな意味があるのか、どんな行事（祭り、盆踊り、神楽など）で演奏、踊るのか、どんな歌詞、楽譜、リズムがあるのかについて調べる
理科	植物・動物の体の働き ：楽器がどんなもので作られているのか（木、動物の皮、角など）、森と人の間にはどんなつながりがあるのか（道具、食べる、燃料、遊ぶなど）調べる
音楽	地域の人に踊りや太鼓を習い、練習して佐渡で披露する
職場体験	伝統芸能の活動をしている人の聞き取り（音楽の魅力、どんな楽器を使うのか、踊りをするのか、何歳で始めたのか、活動する楽しさや苦労について、これからどうしていきたいかなど）
交流	直接聞き取り、電話、メール、FAXなどで上記のことを調べる

当日

音楽に触れる、体験する、学ぶ

地域発見 社会	佐渡における芸能について、地域にどんな太鼓や笛、踊りなどが伝わっているのか、いつどこから伝わってきたのか、どんな意味があるのか、どんな行事（祭り、盆踊り、神楽）があるのかなど調べ学習をもとに質問する
理科	鼓童村を散策し、太鼓と森のつながりや太鼓にはどんな自然の材料が使われているのかを質問する
音楽	太鼓や笛のリズムを録音する。自然の素材を使った楽器作りや竹林の竹そのものを楽器にするなどして、音作りを楽しむ
職場体験	活動する魅力や苦労すること、伝えていきたいことを質問し、書きとめておく。
交流	自分たちの調べたことの発表や演奏を聞いてもらい、交流する

事後学習

まとめたことや新たな発見をもとに交流を深める

地域発見	上越と佐渡に伝わる芸能の特徴や違いを発見し、一覧表にまとめたり、映像に記録して、資料を地域や佐渡に渡す。
図工 音楽	わたしたちの自然 ：自然の素材や身のまわりのものの音がしをして一覧表にする。楽器を作ったり、音のなるものを集めて作詞する。
交流	卒業式での演奏発表や地域の人に発表会を行ない、その記録映像を佐渡に送る